

# 東北地方 3か月予報

(8月から10月までの天候見通し)

平成22年7月22日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

8月 天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

東北日本海側の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。残暑が厳しい見込みです。

気温は、高い確率が50%です。

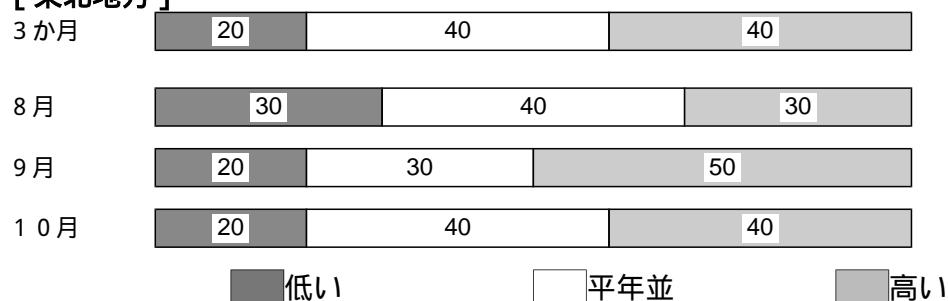
10月 天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

## <向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

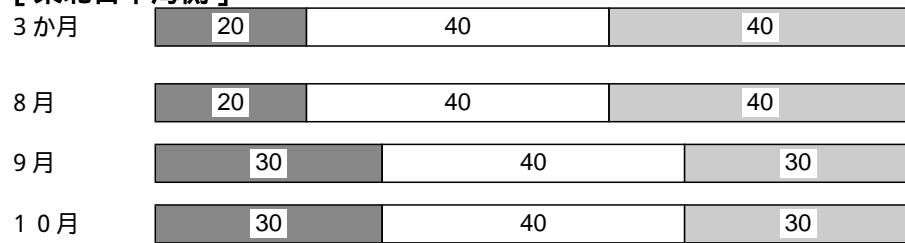
### <<気温>>

#### [東北地方]

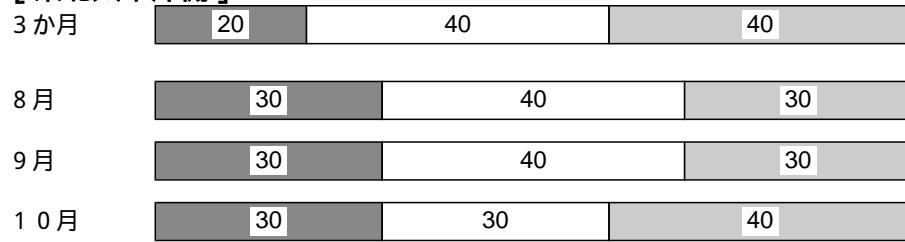


< < 降水量 > >

[ 東北日本海側 ]



[ 東北太平洋側 ]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月23日

3か月予報：8月25日(水) 14時

8月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

## ＜参考資料（平年並の範囲等）＞

### （1）平年値（月・3か月平均気温、降水量、日照時間）

	気温( )				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	8月	9月	10月	8月～10月	8月	9月	10月	8月～10月	8月	9月	10月	8月～10月
青森	23.0	18.9	12.6	18.2	129.3	119.8	106.0	355.1	190.8	160.0	152.9	503.7
深浦	23.1	19.1	13.3	18.5	157.4	176.0	165.6	499.0	185.9	155.4	135.3	476.6
むつ	21.7	18.0	12.2	17.3	140.4	172.7	115.4	428.5	152.8	144.4	159.9	457.2
八戸	22.3	18.6	12.7	17.9	139.8	167.7	77.0	384.5	173.3	144.1	163.1	480.5
秋田	24.5	19.9	13.6	19.3	181.9	177.9	160.7	520.5	200.4	154.9	148.1	503.4
盛岡	23.2	18.3	11.8	17.8	177.8	157.5	97.8	433.1	158.8	123.7	149.0	431.5
大船渡	23.0	19.3	13.8	18.7	198.6	218.7	142.3	559.6	161.5	119.1	146.9	427.6
宮古	22.2	18.6	13.1	18.0	180.8	229.4	105.7	515.8	165.2	123.0	155.8	444.0
仙台	24.1	20.4	14.8	19.8	174.2	218.4	99.2	491.7	155.4	119.8	151.8	427.0
石巻	23.5	19.9	14.2	19.2	127.0	163.1	104.1	394.2	178.1	134.0	159.7	471.7
山形	24.6	19.7	13.2	19.2	148.8	134.3	76.0	359.0	184.7	125.6	131.1	441.4
新庄	23.9	19.0	12.3	18.4	174.5	153.0	151.9	479.3	177.5	112.3	103.6	393.5
酒田	24.9	20.5	14.7	20.0	175.8	185.4	173.7	535.0	211.6	149.6	143.1	504.3
福島	25.2	20.7	14.8	20.2	144.3	169.2	95.3	408.8	159.7	112.6	139.3	411.7
若松	24.8	19.9	13.2	19.3	131.0	134.0	77.6	342.5	199.5	125.2	119.9	444.6
白河	23.3	19.1	13.2	18.5	228.2	215.9	111.9	556.1	154.0	111.3	144.2	409.5
小名浜	23.9	21.3	16.1	20.4	141.7	205.8	153.1	500.6	193.9	135.5	155.3	484.7

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（2）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	8月	9月	10月	8月～10月
気温平年差( )	東北地方	-0.3～+0.6	-0.5～+0.2	-0.6～+0.3	-0.3～+0.3
	東北日本海側	-0.5～+0.5	-0.5～+0.3	-0.6～+0.4	-0.2～+0.2
	東北太平洋側	-0.3～+0.5	-0.4～+0.3	-0.4～+0.3	-0.3～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	73～117	86～110	83～105	91～109
	東北日本海側	74～107	83～108	88～107	89～104
	東北太平洋側	67～120	87～112	63～113	88～115
日照時間平年比(%)	東北地方	90～109	97～106	97～103	94～105
	東北日本海側	94～112	99～108	97～101	94～105
	東北太平洋側	87～109	97～106	99～106	95～106

（3）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
仙台	33.7	45.0	29.3	31.6	42.4	63.8	55.7	63.5	40.5	55.3	45.4	73.6
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間 平年値 (h)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
仙台	63.5	60.6	74.6	54.1	43.1	30.9	35.7	37.0	55.4	56.3	49.5	49.7
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

( 4 ) 接近する台風の平年値

	8月	9月	10月
東北地方	0.7	0.8	0.3

<参考資料(利用上の注意)>

- ( 1 ) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- ( 2 ) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- ( 3 ) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

# 東北地方 3か月予報解説資料 (8~10月)

平成22年7月22日 仙台管区気象台

## 1. 向こう3か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
8~10月 :	平年並または高い確率がともに40%	平年並または多い確率がともに40%
8月 :	各階級の確率の偏りは小さい	東北日本海側では平年並または多い確率がともに40%。東北太平洋側では各階級の確率の偏りは小さい
9月 :	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
10月 :	平年並または高い確率がともに40%	各階級の確率の偏りは小さい

## 2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想（右上図）では、中～東部太平洋赤道域は負偏差で、ラニーニャ現象がこの夏から発生し持続するものと見られる。インド洋の正偏差は小さくなる見込み。

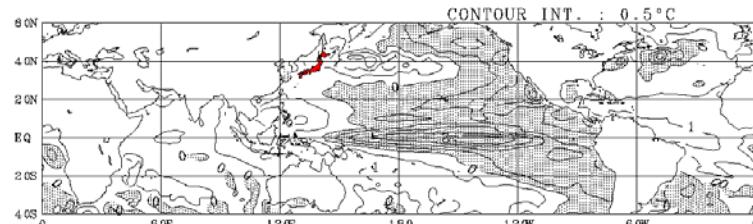
熱帶の降水量の予想（図略）では、インドネシア付近と、ベンガル湾から南シナ海にかけて対流活動が平年より活発となる。これはラニーニャ現象時の特徴と一致する。

対流活動に対応して、チベット高気圧は平年に比べ勢力が拡大し、その北縁を流れる亜熱帯ジェット気流は日本付近で平年より北を流れる傾向がある。このため秋の訪れは遅く残暑が厳しい見込み。

500hPa高度（右中図）では、北半球のほぼ全域が正偏差で、エルニーニョ現象に伴い北半球全体で大気が暖まった影響が残っていると見られる。9月は亜熱帯ジェット気流が北へ押し上げられる予想となっており（図略）、太平洋高気圧の北への張り出しが強まる。10月は亜熱帯ジェット気流が引き続き平年よりも北に位置する。また、日本の東海上で正偏差となり日本付近は西谷となる。

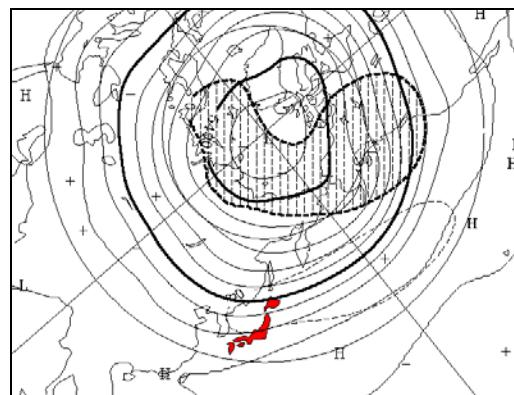
海面気圧予想図（右下図）では、本州付近で太平洋高気圧が強まる。ただし、8月は太平洋高気圧の西への張り出しが強く北への張り出しが相対的に弱いことから、北日本は気圧の谷の影響を受けやすい見込み。

月別の海面気圧予想図（図略）などからは、  
**8月**：太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、気圧の谷の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想される。  
**9月**：天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多いと予想される。残暑が厳しい見込み。  
**10月**：天気は数日の周期で変わると予想される。日本付近は西谷となり、暖かく湿った気流の影響を受け、高温傾向が予想される。



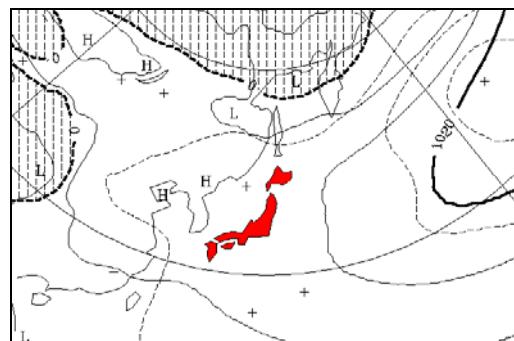
3か月平均の海面水温偏差の予想図

等温線は0.5°C毎。陰影部は負偏差



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎  
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）



3か月平均の海面気圧と偏差の予想図

実線は等圧線4hPa毎、点線は偏差1hPa毎。  
陰影部は負偏差

## ＜参考資料＞

### 平年の天気出現日数（日）

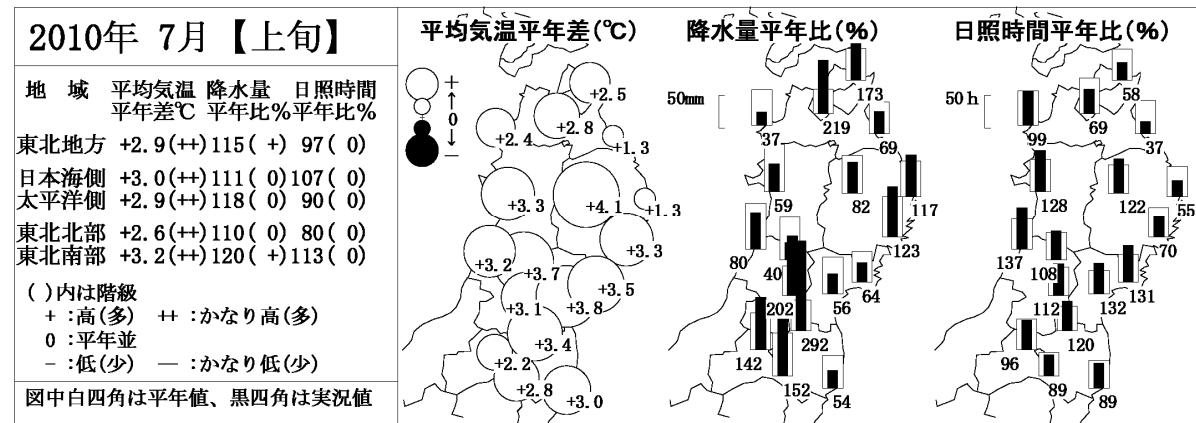
	8月		9月		10月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	18.1	15.8	14.3	13.2	14.8	17.6
雨の日	9.7	9.9	12.5	12.0	13.0	8.8

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。

### 3. 最近の天候経過

7月上旬：前線の影響で曇りや雨の日が多くた。また、太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った気流と上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、期間を通して大気の状態が不安定となつた。各地で局地的大雨となり、浸水や山がけ崩れ害などが発生した。また、青森県と岩手県ではひょうによる被害が発生した。気温は、南から暖かい空気が流れ込んだため、かなりの高温となつた。

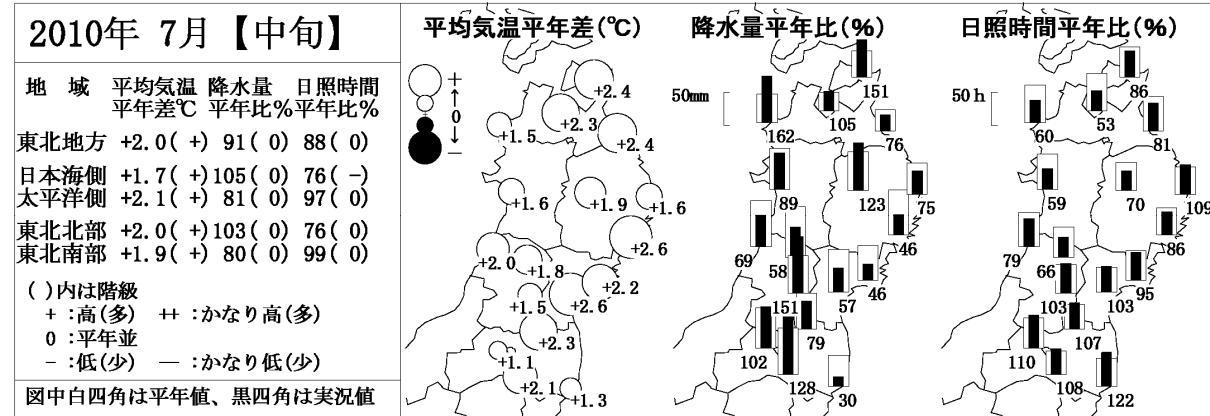
平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北地方で平年並。



東北地方における7月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

7月中旬：前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くたが、期間の終わりは太平洋高気圧に覆われておおむね晴れた。12日は、低気圧が通過した影響で荒れた天気となり、青森県と秋田県で強風害や山がけ崩れ害が発生した。15日から17日にかけては大気の状態が不安定となり、各地で局地的大雨となり、浸水や山がけ崩れ害、強風害、落雷による停電などが発生した。気温は、太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込んだため、高めとなつた。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

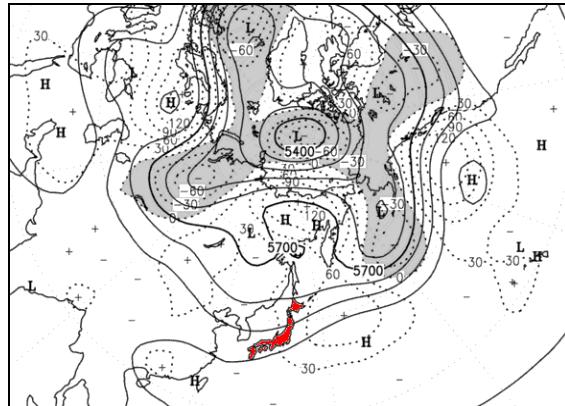


東北地方における7月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

### 4. 今月の循環場の特徴

7月(20日まで)：500hPa高度は、日本の東に明瞭な正偏差が見られ、朝鮮半島から東シナ海にかけて気圧の谷となり、日本付近に暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。

7月前半は、梅雨前線が本州付近に停滞し、大雨となつたところがあった。オホーツク海高気圧が出現せず、東北地方では顕著な高温となつた。その後は、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり晴れの日が多くなつた。東北南部、東北北部とも7月18日頃に梅雨明けしたと見られる。



7月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線 60m 每、点線は偏差 30m 每、陰影部は負偏差